

第1回 特別活動研修会 研修報告

講話『特別活動の充実』 浜松市教育委員会 指導課 沖田 正伍 指導主事

沖田指導主事から、特別活動を充実させるためのポイントをお話していただいた。大きく分けると、「特別活動における資質・能力」「目標と指導と評価の一体化」「特別活動を要としたキャリア教育の充実」の3つからお話をしていただいた。

「特別活動における資質・能力」

3つの視点「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」に着目する。特別活動で育成を目指す資質・能力は、

- ① 集団活動の意義や集団活動に必要なことについての理解と行動の仕方の体得
- ② 課題を見いだす力、合意形成や意思決定する力
- ③ よりよい人間関係を築こうとする態度、自己の生き方への考えを深め自己実現を図ろうとする態度

である。特別活動で育成を目指す資質・能力は、小学校、中学校共通であるとおっしゃっていたので、小学校の教員も中学校の教員も同じベクトルで目標を立て、指導や評価をしていく必要があると感じた。

「目標と指導と評価の一体化」

目標と指導と評価の一体化のイメージは、

- ① 育成を目指す資質・能力を明確にする。
- ② 児童生徒の実態に対して、資質・能力を育成するための指導方法の工夫改善を行う。
- ③ 児童生徒の姿を元に、資質・能力が確実に身に付いたかどうかを評価する。

である。この繰り返しが、3つの柱の一体化につながる。児童生徒が、今の自分たちがどういう状況にいるのか、まずはこのことをわかることが、主体的に取り組める第一歩と感じた。

「特別活動を要としたキャリア教育の充実」

キャリア教育は、学校全体で取り組むのが大前提である。その中でも、横のつながりとして、小中学校の教育活動全体で行うキャリア教育の要としての特別活動の意義を明確にする。縦のつながりとして、小学校から中学校、高等学校へと系統的なキャリア教育を進めることに資する。また、児童生徒にとっては自己理解を深めるものとなり、教師にとっては、児童生徒理解を深めるものとなる。

それぞれのポイントをまとめてお話をしてくださったため、学校教育の中の特別活動についてイメージできた。また、最後には、疑問や質問を沖田先生に答えていただく時間を設けることもできたため、とても有意義な時間となった。

